



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 7264 URL https://www.muro.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山口 誉 (TEL) 028-667-7122  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	10,260	27.2	971	—	1,072	—	754	—
2021年3月期第2四半期	8,066	△25.1	△162	—	93	△86.9	△92	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,044百万円(—%) 2021年3月期第2四半期 △92百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	124.94	—
2021年3月期第2四半期	△15.34	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	26,378	18,768	71.2	3,106.30
2021年3月期	26,753	17,795	66.5	2,945.29

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 18,768百万円 2021年3月期 17,795百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2022年3月期	—	22.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,187	11.7	1,407	41.1	1,710	7.6	1,086	11.5	179.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) ー 、除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	6,546,200株	2021年3月期	6,546,200株
2022年3月期2Q	504,062株	2021年3月期	504,062株
2022年3月期2Q	6,042,138株	2021年3月期2Q	6,042,166株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(会計方針の変更)	9
(企業結合等関係)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けたものの、コロナ禍2年目の対応であったことと欧米諸国を中心にワクチン接種が進んだことから、経済は持ち直しの動きを見せました。しかしながら、経済回復の急激な需要拡大やカーボンニュートラル推進に伴うエネルギー転換の動きなどによりサプライチェーンは混乱し、原材料価格などが高騰、持ち直しの動きに水を差しました。

国内経済につきましては、ワクチン接種が進んでいなかったことで新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受けました。加えて、この期間にオリンピック・パラリンピックが開催されたこともあり、一時は感染が爆発し、医療崩壊とも言える状態となり、経済は冷え込みました。その後、ワクチン接種が進んだ効果もあってか9月に入って感染は収束に向かい、様々な制限が緩和されて経済は徐々に回復しつつあるように思われますが、冬には第6波が到来するとの予測もあり、予断を許さない状況が続いています。

当社が属する自動車業界につきましては、米国等の経済回復を受けて期初からハイペースな生産をしていましたが、東南アジアでの新型コロナウイルス感染拡大に伴う生産拠点の稼働停止等により半導体やワイヤーハーネス等の自動車部品の供給が滞り、8月下旬から大幅な減産を余儀なくされ、急ブレーキがかかりました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は、10,260百万円（前年同期比27.2%増）と大幅な減産に見舞われた前年同期より大きく増加しました。営業利益は971百万円（前年同期は162百万円の営業損失）と黒字回復し、経常利益は1,072百万円（前年同期比11.4倍）、親会社株主に帰属する四半期純利益は754百万円（前年同期は92百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）と大きく回復しました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 金属関連部品

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、8,981百万円（前年同期比27.2%増）となりました。前年同期が大幅な減産であったことと経済回復に伴うハイペースな生産により、大幅に増加しました。

#### ② 樹脂関連部品

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、840百万円（前年同期比31.0%増）となりました。前年同期が大幅な減産であったことと車載関連樹脂成形部品および樹脂成形用金型の受注が回復し、大幅に増加しました。

#### ③ その他

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、439百万円（前年同期比20.8%増）となりました。海外は経済回復傾向により、カナダと韓国、豪州で増加しました。国内は緊急事態宣言等の影響で経済活動に制限はありましたが、全体的に回復基調となり増加しました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

総資産は、前連結会計年度末に比べ374百万円減少し、26,378百万円となりました。主な増加は電子記録債権242百万円、商品及び製品181百万円、有形固定資産411百万円であり、主な減少は現金及び預金903百万円、受取手形及び売掛金263百万円であります。

#### (負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,347百万円減少し、7,609百万円となりました。主な増加は長期借入金402百万円であり、主な減少は短期借入金1,490百万円、未払金210百万円であります。

#### (純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ972百万円増加し、18,768百万円となりました。主な増加は為替換算調整勘定275百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益754百万円であり、主な減少は剰余金の配当金132百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は71.2%（前連結会計年度は66.5%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、586百万円減少し6,452百万円(前連結会計年度末比8.3%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は849百万円(前年同四半期比24.3倍)となりました。これは税金等調整前四半期純利益1,117百万円、減価償却費614百万円などの資金の流入があったものの、たな卸資産の増加217百万円、仕入債務の減少176百万円、未払金の減少191百万円、法人税等の支払額313百万円などの資金の流出があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は310百万円(前年同四半期は51百万円の収入)となりました。これは定期預金の払戻による収入404百万円、有価証券の償還による収入219百万円などの資金の流入があったものの、有形固定資産の取得による支出782百万円、有価証券の取得による支出109百万円などの資金の流出があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1,268百万円(前年同四半期は1,738百万円の収入)となりました。これは長期借入れによる収入426百万円などの資金の流入があったものの、短期借入金の減少1,490百万円、配当金の支払額133百万円などの資金の流出があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年8月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,845,484	6,941,593
受取手形及び売掛金	2,930,769	2,667,055
電子記録債権	1,715,077	1,957,142
有価証券	230,476	222,301
商品及び製品	660,025	841,925
仕掛品	394,039	464,115
原材料及び貯蔵品	355,607	387,307
その他	478,801	509,114
流動資産合計	14,610,282	13,990,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,933,725	8,171,694
減価償却累計額	△4,378,838	△4,534,252
建物及び構築物（純額）	3,554,887	3,637,441
機械装置及び運搬具	13,571,864	13,985,806
減価償却累計額	△11,096,615	△11,490,199
機械装置及び運搬具（純額）	2,475,248	2,495,606
土地	1,466,512	1,491,693
建設仮勘定	458,382	695,432
その他	6,079,912	6,249,759
減価償却累計額	△5,588,297	△5,711,885
その他（純額）	491,614	537,873
有形固定資産合計	8,446,645	8,858,047
無形固定資産		
のれん	75,314	62,761
その他	269,977	274,225
無形固定資産合計	345,291	336,987
投資その他の資産		
投資有価証券	2,098,448	2,033,545
長期貸付金	64,007	124
繰延税金資産	53,090	56,406
退職給付に係る資産	110,323	125,387
その他	1,029,497	981,538
貸倒引当金	△4,280	△4,280
投資その他の資産合計	3,351,087	3,192,723
固定資産合計	12,143,023	12,387,758
資産合計	26,753,306	26,378,313

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,076,573	1,039,459
電子記録債務	2,479,204	2,381,477
短期借入金	2,450,000	960,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	71,912	72,596
未払金	769,487	558,983
未払法人税等	345,758	378,695
賞与引当金	622,245	647,398
役員賞与引当金	26,090	45,564
その他	745,453	773,617
流動負債合計	8,596,724	6,867,791
固定負債		
社債	10,000	5,000
長期借入金	100,849	503,338
繰延税金負債	149	3,938
役員退職慰労引当金	21,131	23,211
その他	228,593	206,309
固定負債合計	360,724	741,797
負債合計	8,957,449	7,609,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	15,871,569	16,554,425
自己株式	△395,383	△395,383
株主資本合計	17,475,572	18,158,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464,363	491,979
為替換算調整勘定	△281,769	△5,821
退職給付に係る調整累計額	137,690	124,137
その他の包括利益累計額合計	320,284	610,295
純資産合計	17,795,857	18,768,724
負債純資産合計	26,753,306	26,378,313

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	8,066,576	10,260,940
売上原価	7,078,025	7,899,075
売上総利益	988,550	2,361,864
販売費及び一般管理費		
運搬費	164,459	192,881
給料及び賞与	332,976	365,518
賞与引当金繰入額	81,644	111,631
役員賞与引当金繰入額	22,565	45,564
退職給付費用	15,222	5,738
減価償却費	19,948	52,112
貸倒引当金繰入額	177	—
のれん償却額	12,552	12,552
その他	501,394	604,441
販売費及び一般管理費合計	1,150,941	1,390,441
営業利益又は営業損失(△)	△162,390	971,423
営業外収益		
受取利息	23,868	12,676
受取配当金	13,126	17,668
太陽光売電収入	6,501	6,929
補助金収入	222,116	—
為替差益	—	41,780
その他	53,700	32,894
営業外収益合計	319,313	111,950
営業外費用		
支払利息	6,777	4,865
為替差損	50,467	—
減価償却費	2,400	2,117
その他	3,784	4,144
営業外費用合計	63,430	11,126
経常利益	93,492	1,072,246
特別利益		
固定資産売却益	489	651
投資有価証券売却益	—	14
段階取得に係る差益	—	7,350
負ののれん発生益	—	37,803
特別利益合計	489	45,820
特別損失		
固定資産除却損	463	690
有価証券償還損	2,745	—
特別損失合計	3,208	690
税金等調整前四半期純利益	90,773	1,117,377
法人税、住民税及び事業税	27,713	367,375
過年度法人税等	66,743	—
法人税等調整額	89,009	△4,955
法人税等合計	183,466	362,419
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△92,693	754,957
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△92,693	754,957

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△92,693	754,957
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83,462	27,616
為替換算調整勘定	△112,161	275,947
退職給付に係る調整額	28,407	△13,553
その他の包括利益合計	△292	290,011
四半期包括利益	△92,985	1,044,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△92,985	1,044,968
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	90,773	1,117,377
減価償却費	602,516	614,788
のれん償却額	12,552	12,552
賞与引当金の増減額(△は減少)	△155,786	25,152
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,204	19,474
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,247	2,080
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△15,064
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△23,877	—
受取利息及び受取配当金	△36,995	△30,345
支払利息	6,777	4,865
為替差損益(△は益)	67,755	△44,825
補助金収入	△222,116	—
固定資産除却損	463	690
固定資産売却益	△489	△651
有価証券償還損益(△は益)	2,745	—
売上債権の増減額(△は増加)	508,008	33,655
たな卸資産の増減額(△は増加)	86,980	△217,507
仕入債務の増減額(△は減少)	△820,203	△176,000
未払金の増減額(△は減少)	△38,565	△191,525
未払又は未収消費税等の増減額	△32,420	△57,187
その他	△3,506	38,653
小計	18,159	1,136,180
利息及び配当金の受取額	40,788	30,379
利息の支払額	△10,037	△3,615
補助金の受取額	168,214	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△182,125	△313,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,999	849,803
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△16,966	△14,402
定期預金の払戻による収入	457,394	404,766
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	1,162
有価証券の取得による支出	△1,157	△109,750
有価証券の償還による収入	311,865	219,510
有形固定資産の取得による支出	△642,708	△782,816
有形固定資産の売却による収入	3,706	781
無形固定資産の取得による支出	△37,331	△15,064
投資有価証券の取得による支出	△6,015	△5,327
その他	△17,546	△9,756
投資活動によるキャッシュ・フロー	51,240	△310,898
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,818,359	△1,490,000
長期借入れによる収入	250,173	426,014
長期借入金の返済による支出	△150,215	△33,734
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
配当金の支払額	△132,635	△133,380
リース債務の返済による支出	△42,073	△32,824
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,738,608	△1,268,925
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55,604	143,995
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,769,243	△586,024
現金及び現金同等物の期首残高	4,741,639	7,038,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,510,882	6,452,884

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

##### 1. 連結の範囲の重要な変更

特定子会社には該当しておりませんが、2021年6月4日付けで3MT(THAILAND)CO., LTD. の株式を追加取得したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。同社の決算日は12月31日であります。

なお、当第2四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

##### 2. 持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結累計期間において、持分法適用の範囲に重要な変更はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日)第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。これにより、従来、金型売上の一部について一定期間で収益認識しておりましたが、一時点の収益認識としております。また、従来、売上原価として計上していた一部の費用について、第1四半期連結累計期間より顧客へ支払われる対価として、売上高から減額しております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は259,581千円減少し、売上原価は277,223千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17,642千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は42,328千円増加しております。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定基準に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日、以下「時価会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44号-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、当第2四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(企業結合等関係)

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 3MT(THAILAND)CO., LTD.

事業の内容 金属関連部品販売業

## (2) 企業結合を行った主な理由

東南アジアにおける会社製品の販売拠点として、IGARI INDUSTRY(THAILAND)CO., LTD. 社との相乗効果による受注増をはじめとした経営の合理化を図るため。

## (3) 企業結合日

2021年6月4日(株式取得日)

2021年6月30日(みなし取得日)

## (4) 企業結合の法的形式

株式取得

## (5) 結合後企業の名称

変更ありません。

## (6) 取得した議決権比率

①企業結合直前に所有していた議決権比率 25.0%

②相対取引により追加取得した議決権比率 75.0%

③取得後の議決権比率 100.0%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

## 2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第2四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しているため、被取得企業の業績は含めておりません。

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	54,451	千円
取得原価		54,451	千円

## 4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生した負ののれん金額

37,803千円

## (2) 発生原因

企業結合時の時価純資産が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれん発生益として認識しています。

## 5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	186,561	千円
固定資産	827	千円
資産合計	187,388	千円
流動負債	76,982	千円
固定負債	—	千円
負債合計	76,982	千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	7,061,162	641,917	7,703,080	363,496	8,066,576	—	8,066,576
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	6,747	6,747	—	6,747	△6,747	—
計	7,061,162	648,664	7,709,827	363,496	8,073,323	△6,747	8,066,576
セグメント 利益又はセ グメント損 失(△)	190,323	△70,268	120,055	46,523	166,578	△328,969	△162,390

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△328,969千円には、セグメント間取引消去△6,747千円、報告セグメントに配分していない全社費用△322,222千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	8,981,120	840,671	9,821,791	439,148	10,260,940	—	10,260,940
セグメント 間の内部 売上高 又は振替 高	—	8,541	8,541	—	8,541	△8,541	—
計	8,981,120	849,212	9,830,333	439,148	10,269,482	△8,541	10,260,940
セグメント 利益	1,289,703	3,954	1,293,658	57,082	1,350,740	△379,317	971,423

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. セグメント利益の調整額△379,317千円には、セグメント間取引消去△8,541千円、報告セグメントに配分していない全社費用△370,775千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「金属関連部品事業」の売上高は259,581千円減少し、セグメント利益は17,642千円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

「金属関連部品事業」セグメントにおいて、3MT(THAILAND)CO., LTD.の株式を追加取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。

当該事象による負ののれん発生益の計上は、37,803千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(収益認識関係)

当社グループは主として自動車メーカー向けの部品供給事業を中心に事業活動を行っております。売上高を顧客の所在地を基礎とした地域に分類しております。

分解した地域別の売上高と報告セグメントとの関係は以下のとおりです。

当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計		
日本	7,853,726	780,166	8,633,893	79,820	8,713,713
北米	771,735	—	771,735	248,501	1,020,237
東南アジア	353,211	60,504	413,716	—	413,716
その他	2,446	—	2,446	110,826	113,273
外部顧客への売上高	8,981,120	840,671	9,821,791	439,148	10,260,940

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。